

令和元年度 第14回役員会議事要旨

日 時 令和元年11月27日（水） 10時28分～11時38分

場 所 学長室

出席者 学長，渡理事，山下理事，寺本理事，吉田理事

欠席者 なし

陪席者 佐々木監事，山崎事務局長，山下附属病院長，只木評価室長

1 審議事項

- (1) 令和元年人事院勧告への対応に伴う就業規則の一部改正について
人事課長から，本件は，令和元年人事院勧告に伴い，本学においても国家公務員に準拠する基本方針に基づき就業規則の一部を改正し，月例給及びボーナス支給割合等の引上げ，住居手当の上限の引上げ等を行うものである旨，一部不利益変更にあたるため，教職員及び過半数代表者への説明を行った旨の説明があり，審議の結果，了承された。
- (2) 国立大学法人佐賀大学役員報酬規程の一部改正について
渡理事から，本件は，令和元年人事院勧告に伴い，本学においても国家公務員に準拠する基本方針に基づき役員報酬規程の一部を改正し，ボーナス支給割合を引上げるものである旨の説明があり，審議の結果，了承された。
- (3) 「佐賀大学教育委員会規則」及び「佐賀大学学生委員会規則」の一部改正について
山下理事から，本件は，医学部，理工学部，農学部の教員で構成されている先進健康科学研究科の設置に伴い，学部等の委員が兼ねることができるものとする，代理出席を認める等の所要の改正を行う旨の説明があり，審議の結果，了承された。
- (4) 「佐賀大学学生の性別違和を理由とする通称名等使用の取扱いに関する要項」について
山下理事から，本件は，性同一性障害による通称名の使用を認める大学が30数校にのぼっており，本学においても学生からの要望がある場合に対応する必要があるため，要項を制定する旨の説明があり，次いで，学生生活課

長から、要項（案）、通称名等使用の申出の手続き及び申出書等の説明があり、審議の結果、了承された。

佐々木監事から、申請書類に不備がなければ必ず認めるのか確認があり、学長から、基本的に学生が制度について十分理解していれば認めるが、特別に心配がある場合は、学生委員会に諮る旨の発言があった。

佐々木監事から、本制度について、他大学と問題点等の情報共有を行い、よりよいものにしてほしい旨、要項の第4について、学長判断の基準にばらつきが生じないよう積み上げてほしい旨の発言があった。

(5) 令和元年度評価反映特別経費（業務の評価）の評価結果及び予算配分（案）について

財務課長から、本件は、令和元年度評価反映特別経費に係る業務の評価の結果に応じて予算（100百万円）を配分するものである旨、予算配分（案）については大学運営連絡会で報告し、各部局において確認いただいた旨の説明があり、審議の結果、了承された。

(6) 平成30事業年度剰余金の繰越承認に係る目的積立金及び事業計画について

財務課長から、本件は、文部科学大臣の承認を受けた平成30事業年度の剰余金について、本学の目的積立金とし、事業計画を決定するものである旨、事業計画について、教育研究プロジェクトの実施及び設備整備等として教育・研究充実積立金、附属病院再整備に係る施設・設備整備として、附属病院充実積立金に配分する旨の説明があり、審議の結果、了承された。

(7) 国立大学法人佐賀大学における佐賀大学発ベンチャーの称号授与について

学術研究協力部長から、本件は、令和元年7月8日の株式会社山城機巧による佐賀大学発ベンチャー称号授与申請に対して、国立大学法人佐賀大学における佐賀大学発ベンチャーに係る称号授与及び支援に関する規程第3条第2項に基づき大学からの称号を与えるものである旨、規程制定後、第1号であるため、確認作業等に時間を要した旨の説明があり、審議の結果、了承された。

佐々木監事から、リージョナル・イノベーションセンター運営委員会の審議内容等が分かる資料を役員会資料に添付するのが望ましい旨の発言があり、学術研究協力部長から、次回から添付する旨の発言があった。

吉田理事から、学内に点在させるのではなく、佐賀大学発ベンチャーが集まった施設を設けることも考えてほしい旨の発言があった。

(8) 寄附に伴う感謝状の贈呈について

総務課長から、本件は、本学の教育研究活動に対して深い理解を示され、佐賀大学一般基金に100万円の寄附をされた、緒方 正嗣氏に対し、感謝状の贈呈を提案するものである旨の説明があり、審議の結果、了承された。

- (9) その他
特になし。

2 報告事項

- (1) 平成30年度に係る業務の実績に関する評価の結果について
只木評価室長から、本学について、「戦略性が高く意欲的な目標・計画」として、とびらシリーズ及び教育研究活動に対するインセンティブの付与が評価され、項目別評価として、業務運営の改善及び効率化等の4項目すべてで「順調」と評価された旨、国立大学法人等の平成30年度評価結果及び各大学等の特筆・注目すべき点として評価された取組について報告があった。
- (2) 医学部の収容定員の増加について
企画評価課長から、本件について、文部科学省に申請しており、11月15日に「可」との審査結果の連絡があった旨の報告があった。
- (3) 附属病院経営状況について
山下医学部附属病院長から、令和元年度附属病院収支実績及び見込（～8月実績）、粗利の収支状況及び見通し、月別医薬品費・診療材料費率の推移、診療稼働実績累計、令和元年度附属病院の目標の達成状況等について報告があった。
- (4) その他
特になし。

3 その他

特になし。

以上